

市議会だより Obanazawa

130

令和8年8月1日発行

6月定例会
特集 ありがとう おもだか保育園

地域の
チカラ③

2025年 第50回 材木岩にて



シリーズ 地域のチカラ③

尾花沢林間学校
代表 古瀬 正則さん
ふるせ まさのり
インタビュー

① 50年前、林間学校はどのように始まったのですか。
1976年（昭和51年）東京都板橋区桜川地区にある茂呂町会で「子どもたちに電気、水道、電話の無い大自然を体験させたい」との思いに、当時町内に住んでいた尾花沢出身の画家、石丸弥平氏が、県立自然公園「御所山」を紹介したことがきっかけで始まりました。会いから感動へと広がり、桜川地区

② 交流を続けてよかったことは何ですか。
林間学校での体験が評判となり茂呂町会のある人口3万人の桜川地区全体の事業として広がる事となりました。同時に人と人との出会いから感動へと広がり、桜川地区

尾花沢林間学校について



人・自然に感謝 出会いに感動

③ 子どもたちの交流ではどんな変化がありましたか。
始めた当時は4泊5日でしたが往復は夜行列車で移動、御所山荘には2泊と今思えばかなりハードでした。現在は2泊3日になり、子どもたちは大自然の中、道元峡沢歩きで水につかったり、魚を捕まえたり、ドラム缶風呂に入ったりと、非日常を満喫しています。

④ 常盤地区の皆さんの変化はありましたか。
最初は行政主体で受け入れていましたが、回を重ねるごとに地域の方々の協力を得られるようになった。



1976年 第1回御所山林間学校 開校式

区と常盤地区の人々の交流がより深いものとなっていきました。



第1回御所山林間学校 沢歩き

⑤ 林間学校のハイライトになるイベントはどんなものがありますか。
1982年（昭和57年）の第7回から「尾花沢林間学校で受けた友情が忘れられない」ということで、桜川の皆さんから常盤の子どもたちを「都市体験移動教室」として招待していただくこととなり、今年で45回目となります。

⑥ 今後の抱負は何ですか。
子どもたちが大自然を体験すること、教室では決して味わえない感動と喜びを得ています。ただ現在クマの出没が相次いでいることから、「御所山林間学校におけるクマ対策ガイドライン」を委員会で作成し検証しているところです。これからも課題に対応しながら長く続けていきたいです。

り現在の地域主体による受け入れ体制となりました。

発行責任者		議長 菅野 修一
市議会だより編集委員		委員長 安井 一義
副委員長		鈴木 清
委員		伊藤 浩
委員		菅野 喜昭
委員		菅藤 昌己
委員		畑中 和恵
委員		土屋 範晃

山々の緑、水田の緑、スイカ畑の緑と、尾花沢の自然が緑一色に染められる季節です。そんな雄大な尾花沢の自然に誘われるように今年も東京板橋の桜川地区の子どもたちが尾花沢にいらっしやいます。今年で51年目となる林間学校ですが、まさに「継続は力なり」を表していると思います。参加される皆さんも大変ですが、受け入れ側のスタッフの苦勞も並大抵ではありません。そんな双方の誠意ある努力と信頼感が51年間の継続に繋がっていると思います。ただ、今年はクマ出没の影響で、御所山での水遊びが鶴子地区内の丹生川に場所を変えて行う事になりました。少し残念ですが、丹生川の上流なので、御所山の沢と同じくらいにきれいな水で遊べます。思いっきり遊んで尾花沢での思い出をたくさん作っていただきたいと思います。子ども達には、きっと生涯忘れえぬ思い出となることでしょう。【伊藤 浩】

あ
と
が
き

公共施設の LED化・ 農畜 産業の更なる振興!

持続可能な 観光地域づくり事業

5,925万円
(商工観光課)

銀山温泉地区における
オーバーツーリズムの
未然防止と持続可能な
観光地域の形成を図る



花笠高原スキー場 整備事業

7,600万円
(商工観光課)

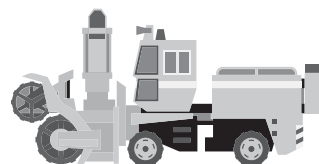
花笠高原スキー場のゲ
レンデを整備するため
圧雪車を 1 台購入する



ロータリ除雪車購入契約の締結

6,292万円 (建設課)

ロータリ除雪車を購入し、冬の除雪体制の充実を図る



＜令和8年度補正予算＞

令和 8 年度一般会計補正予算は、歳入歳出にそれぞれ、
2 億9,819万円を追加し、歳入歳出予算の総額を188億
5,719万円とする。(主なものを抜粋)

地域農業構造 転換支援事業

5,575万円
(農林課)

地域の中核と
なって農地を
引き受ける担
い手に対し、
農業用機械・
施設の導入を
支援



畜産生産持続 強化支援事業

4,731万円
(農林課)

持続可能な畜産
経営の実現に向
けた、ICT 技術
活用による作業
省力化と暑熱対
策の取り組みへ
の支援



社会資本整備 総合交付金事業

2,200万円
(建設課)

市道丹生玉野線道
路工事外 1 路線に
係る測量設計監理
委託料、工事請負
費



【債務負担行為】 公共施設LED照明 賃貸借契約の締結

2 億974万円
(財政課)

令和 8 ～18年度、
尾花沢市公共施
設のLED照明の
賃貸借契約の締
結



6月定例会は、6月10日から6月19日までの10日間を会期とし開催されました。一般質問は、6人の議員が行い、令和7年度補正予算の専決処分の承認が2件、条例の制定と改正に関する専決処分の承認が2件、令和8年度の一般会計補正予算2件、財産取得契約1件、農業委員会委員の任命について、原案どおり全会一致で可決、承認・同意しました。議案案(請願)1件については、採決の結果、賛成多数で採択しました。

【定例会のあらまし】

議案番号	審議した議案等	審議結果
承第2号	令和7年度尾花沢市一般会計補正予算(第14号)の専決処分の承認について	承認
承第3号	令和7年度尾花沢市一般会計補正予算(第15号)の専決処分の承認について	
承第4号	尾花沢市税条例の一部を改正する条例の制定についての専決処分の承認について	
承第5号	尾花沢市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定についての専決処分の承認について	可決
議第30号	令和8年度尾花沢市一般会計補正予算(第1号)	
議第31号	尾花沢市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	
議第32号	ロータリ除雪車購入契約の締結について	同意
議第33号 ～ 議第51号	尾花沢市農業委員会委員の任命について	
議第52号	令和8年度尾花沢市一般会計補正予算(第2号)	可決
議第53号	【債務負担行為】 令和8～18年度 尾花沢市公共施設LED照明賃貸借契約の締結について	
議案案第1号	核兵器禁止条約(TPNW)への日本政府の署名と批准を求める意見書の提出について	可決

次は請願・6人の議員はいつ質疑した!

6人の議員は こう 質^ただした!

令和8年 6月定例会 一般質問

鈴木由美子	① 4年間の尾花沢市政は	菅藤昌己	1 ふるさと納税30億円目指して 2 本市の食文化と食育計画 ③ 災害対策と自主防災組織
高橋隆雄	① 鳥獣被害に対する対策の強化 2 街路樹の管理状況は	青野隆一	1 カスタマーハラスメント対策マニュアル ② 市内小中学校一校統合の課題 3 市政運営の課題は
伊藤浩	1 尾花沢市の農業政策 ② 地域ぐるみの鳥獣被害対策	鈴木清	1 会計年度任用職員の処遇改善 ② 国保税と「子ども・子育て支援金」 3 統合小学校と学童保育

質問議員が責任を持って原稿を作成しています。

問 これまでの子育て



問 スイカ生産者育成で移住人口増の効果があつた農業後継者をどう支援していくか。

答 「儲かる農業支援事業」で、品目を拡充して後継者育成を支援したい。

問 福原工業団地2区画分譲決定と後期基本計画書に記載があるが、現状と異なるのでは。今後の企業支援策とは。

答 令和3年に2社購入が決定したが、昨今の世界情勢が影響している。今後は人材確保など、既存企業をサポートしていく。

問 事業の実績状況とその効果、課題は

答 スイカ栽培以外の教育支援の評価は低い。子育て支援拠点の機能強化として、街中の空き店舗や空き家を利用した施設設置を考えてはいる。

問 本市の人口減少速度は全国平均の約5.9倍。この状況下で副市長の考えるまちづくりにおいて、今後力を入れていくことは何か。

答 人口減少は全国的な問題であるが、マイナスイメージではない魅力を発信して人口減少を食い止めたい。

問 まちづくりの主役は誰?



鈴木由美子 議員



動画はこちら

請 願

令和8年 請願第1号

核兵器禁止条約 (TPNW) への日本政府の署名と批准を求める意見書提出に関する請願

採 択

代表請願者	世界から核兵器をなくす県民の会 共同代表 遠藤 学、共同代表 中島 幸裕
紹介議員	大類 好彦
請願の主旨	国に対して、核兵器禁止条約 (TPNW) への日本政府の署名と批准を求める意見書の提出をするよう請願するもの。

賛否状況 (○…賛成、×…反対)

青野隆一	伊藤浩	鈴木由美子	土屋範晃	鈴木清	大類好彦	菅藤昌己	畑中和恵	高橋隆雄	安井一義	菅野喜昭	和田哲	星川薫	菅野修一
○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	×	議長

議会案第1号

核兵器禁止条約 (TPNW) への日本政府の署名と批准を求める意見書の提出について

可 決

青野隆一	伊藤浩	鈴木由美子	土屋範晃	鈴木清	大類好彦	菅藤昌己	畑中和恵	高橋隆雄	安井一義	菅野喜昭	和田哲	星川薫	菅野修一
○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	×	議長



問 鳥獣被害の対策強化すべき

答 被害の未然防止に取り組む

問 これまでの取り組みの進捗、検証結果及び今後の課題は。

答 捕獲を強化するだけでなく「捕獲」「侵入防止」「生息環境管理」を組み合わせた総合的な対策を継続する。今後の課題は第1に出没情報を迅速に把握し、

関係機関や地域住民と連携を図り、早期の注意喚起と安全確保に努める。第2に被害を未然に防ぐよう集落に放任果樹の伐採や藪の刈払い等寄せ付けない環境づくりを地域ぐるみで進めていくことが重要である。第3に有害鳥獣捕獲を担う人材の確保・育成に務める必要性があると考えている。

問 今後の「尾花沢市鳥獣被害防止計画」についてどう取り組むか。

答 人身被害防止を最優先し捕獲対策に加え、地域住民と行政、関係機関が連携しながら「地域ぐるみによる鳥獣被害防止対策事



ドローンを使用する鳥獣対策はどうか

業を拡充して取り組む。

問 ドローンを活用した追い払いを検討すべきでは。

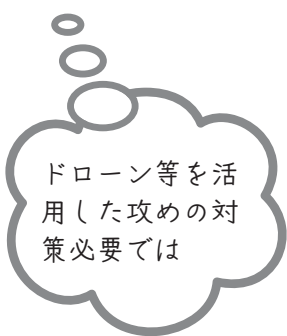
答 職員の運用体制の整備を検討するとともに民間事業者の活用など調査研究してまいりたい。



高橋 隆雄 議員



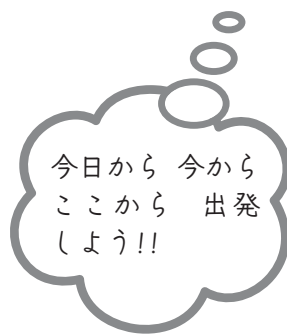
動画はこちら



菅藤 昌己 議員



動画はこちら



問 災害対策と自主防災組織について

答 地域防災力の向上を推し進める

問 令和7年度の防災出前講座の実績は。

答 自主防災組織が7回、小中学校は3回、福祉関連事業者が1回計11回実施。

問 令和7年度における自主防災組織の備品等購入について。

答 自主防災防災組織資機材購入補助事業で、発電機、消火器、メガホン、ランタンなど14地区、200万交付した。

非常用持ち出し袋セットを購入した自主防災組織も5地区あった。

問 一時避難場所、福祉避難所への指定マ

ークを明示してはどうか。

答 指定避難所は、明示している。一時避難場所については、今後の検討課題とさせていた

き、福祉避難所については、施設管理者と協議し設置をすすめていく。

問 防災マップの災害種別の適否について、文化体育施設サルナートが洪水、風水害は使用可

風水害は使用可



問 地域ぐるみの鳥獣対策を進めて!!

答 市内全域に拡大していきたい。

問 昨年度緊急対策として実施した不要果樹(柿)の伐採に対する補助事業を、今年度は地域ぐるみの事業を対象とする決定がされている。現状での地域の取り組み状況はどうか。

答 4月の連合区長会においてこの見直し内容を説明したが、複数の新たな地区から問い合わせを受けている。本年度は、支援金額も増加し、この事業の周知に努めながら、新規



伊藤 浩 議員



動画はこちら

個人よりも地域で取り組みれば大きな効果がある。



住宅付近にクマ出沒

問 現在9組織が活動しているが、新たに組織づくりを行うことは、役員の担い手不足などの課題も多い。そこで、多面的機能支払い事業など、既存の活動団体にこの事業を委託して行う選択肢もあつていいのではないか。

答 新規組織の立ち上げが難しいケースもあると思う。議員からあったように、既存組織でこの事業に取り組んで頂くことに問題は無いと考える。ぜひ多くの地域で取り組んで頂きたい。

問 中東情勢で令和10年開校できるか

答 不透明だが間に合うよう努力する

問 福原地区のスクールバス運行について、学校、保護者、運行業者との情報共有が必要ではないか。

答 今後も、その時々

の事案に応じた対策を講じ、生徒の安全確保と不安解消に努めたい。

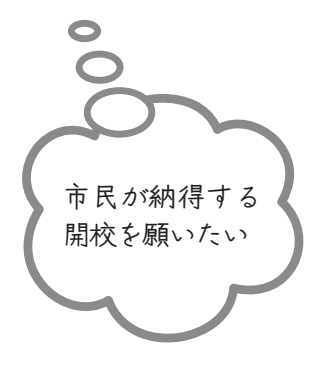
問 旧福原中学校の消



青野 隆一 議員



動画はこちら



問 校庭の一部に農地が残っている。開校までに解決すべきではないか。

答 学校運営に支障はなく、交渉は行っていない。今後取得が必要であれば、議会にも相談したい。

問 統合小学校建設工事に



民訴訟の進捗状況を伺いたい。

答 昨年12月に第1回口頭弁論が行われ、9月にも原告側の陳述が予定されている。

問 万が一敗訴した場合の賠償金は誰が払うのか。

答 市長個人になると考える。

おばなざわ 温故知新

※「おばなざわ温故知新」が新シリーズで登場です。
題材は、市報・市史などで「尾花沢の古きを訪ねて新しきを知る」新シリーズとなります。

第1回 保育園を考える

第1回は「保育園を考える」をテーマに選びました。どんな時代も子ども達の笑顔が大人を励まし地域の未来を拓いてきました。保育行政が地域の福祉を推進してきた様子が分かります。

楽しいバス通園 よろこぶ子どもたち

今年の4月から畑沢、細野、中島、行沢、中刈など辺地の園児を認可保育園への送り迎えをするマイクロバスが走りました。バス通園をする子どもは、延沢保育園に畑沢、細野から34名、高橋児童館に中島、行沢、中刈から26名、新生保育園に北町、和合から31名、計91名をかぞえます。マイクロバスは2台、1回で運びきれないところではピストン運行を行って、子どもの安全をはかっております。



昭和47年5月10日の市報より抜粋

未来を拓く子ども達の笑顔

Q1 保育園はいつから始まったのですか。

A1 昭和27年おもだか保育園が最初です。(談話参照)

Q2 尾花沢の出生数はどれくらいでしたか。

A2 本市の出生は昭和30年が最高で733人。昭和40年代50年代が半分の300人台になっています。令和6年度では35人なので約20分の1となっています。少子化が課題です。(表1)

Q3 本市の保育行政の特徴は。

A3 平成3年で10保育園(おもだか、わかば、延沢、玉野、荻袋、寺内、野黒沢、名木沢、六沢、ひまわり)と新町児童館、高橋児童館。きめ細かな施設配置が特徴です。県内13市の中で最も高い保育所普及率でした。(表2)

保育所誕生！

元おもだか保育園長 早坂艶子さん談話
昭和27年終戦7年目の春、敗戦の痛手からやっと立ち上がった頃でした。こんな中での保育所の誕生は町民みんなの喜びでした。今から見ると、建物は粗末なもので可愛らしいおもだか保育園でした。そして昭和31、32年の子ども達が最初の入所児となりました。これからの数年間は子ども達がどんどん増え続けました。そしてこの子たちは非常にたくましく、明るくて敗戦の悲しみを忘れさせてくれるものがありました。
(平成4年3月15日市報より抜粋)

表1 昭和25年間の出生の推移

年	男	女	計
30			733
35			558
40	187	184	371
41	167	122	289
42	207	187	394
43	176	126	302
44	181	159	340
45	163	154	317
46	162	161	323
47	186	173	359
48	158	165	323
49	183	162	345
50	174	176	350
51	179	165	344
52	199	164	363
53	155	178	333
54	164	184	348

表2 保育所普及率(昭和60年・県調べ)

市名	普及率%
尾花沢市	41.9
村山市	9.9
東根市	17.2
山形市	9.1
酒田市	25.8
鶴岡市	21.2
米沢市	15.1
天童市	13.0
新庄市	15.2
寒河江市	15.3
上山市	17.9
長井市	15.2
南陽市	25.8

トピックス

ありがとう



From 1952 to 2026

おもだか保育園

7人の卒園児は、夢を元気に発表しました。



卒園おめでとう



保育証書授与

園旗返納

74年間、地域に愛される園を創りました。

地域に愛された74年間に感謝を込めて

おもだか保育園園歌

作詞 今埜 充
作曲 今川昌弘

1 おおきなわになれー
みどりのなかで てをたたき
ひざをたいて タンタンタン
かけっこ おえかき すべりだい
みんななかよく げんきよく
おもだかほいこえん ヤー

2 ひかりのなかで てをたたき
かたをたいて タンタンタン
たのしい えんそく うんどうかい
あかるいえがおと はずむこえ
おもだかほいこえん ヤー

尾花沢市で一番最初にできたおもだか保育園は、74年間の長い歴史の中で、7628人の卒園児が巣立ちました。地域の温かい愛に包まれ、豊かな心やこの園で培った優しい心は、園舎が姿を消しても、次世代へ優しく引き継がれます。そして、みんなで楽しく過ごした思い出や、ここで育まれた絆は永遠です。長年の素晴らしいお支えに心から感謝申し上げます。

おもだか保育園長 伊藤美佳